

令和7年度

牛島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○ICTを活用した個別最適な学びと、協働的な学びの実現。
○児童が自尊感情を高め、主体的に取り組む学習活動の実現。

校長

大櫛 秀明

学力向上推進員

河野 雅代

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いており、与えられた課題にも真面目に取り組める児童が多い。 ●長い文章を読み取ったり書いたりすることに課題がある。 ●語彙が少ない。	・文章を読み、大まかな内容を把握することができる。 ・読書に進んで取り組むことができる。	・何が書かれているかを捉えさせる為、教科書にアンダーラインを引かせる。 ・文章を要約する機会を増やす。 ・辞書や「ことばのたからばこ」の活用を促したり、環境を整えたりする。	○4月からの取組を踏まえて、以下のような指導の改善に取り組む。 ・キーワードを示したり、5W1Hを確認させたりする。 ・すき間時間を活用して、読書に取り組ませる。 ホールなど、手に取りやすい場所に図書を設置する。	・文章の大まかな内容は把握できる。(読み聞かせや、アンダーラインを引く場所を提示するなどの支援を必要とする児童もいる) ・本に接する機会を増やすことで、進んで読書をする児童が増えつつあるが、内容量や頻度に偏りがある。	・引き続き、隙間時間などを活用し、読書する時間を作る。 ・基礎・基本の学習をする時間の確保が必要。 ・図書室の環境をよりよく整える。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○他者の意見を受け入れ、広げることができる。また、既習事項を活用できている。 ●考えを表現・説明することができていない。また、考えを深めることができていない。	・自分の考えを他者に表現することができるようになる。 ・自分の考えていることを更に深められるようになる。	・自分の考えを表現するためにタブレットやホワイトボード、書画カメラなどを活用する。 ・友だちの発言に対して「なぜ?」「どうして?」の発問をして、児童の考えを深めさせる。	○4月からの取組を踏まえて、以下のような指導の改善に取り組む。 ・引き続き、意欲向上や視覚支援のためにも、タブレットや書画カメラ等を授業で活用する。 ・タブレットを使うときは、使うときと使わないときを示す。 ・質問の仕方や答え方がわからない児童がいるので、手本にして発問をすることができるようにするために、教師が問いかけを増やす。	・ホワイトボードやタブレット等のツールを使って、自分の考えを構築することができた。 ・友達との対話を通して、考えを深めたり、共有したりできる場面が増えた。	・対話的な活動を充実させる。 ・子どもたちに対話の良さや技能、楽しさを一緒に考える。 ・ホワイトボードやタブレット等ツールの活用(どういう目的で使うかによる)

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業に真面目に一生懸命取り組むことができる。また、家庭学習の提出率も高い。 ●自分の考えを持ち、進んで発表する児童が固定されている。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の考えを持ち、進んで発表し、お互いの考えを知ることができる。	・児童が集中して学習できるように、「よく学ぶための7つの約束」を徹底する。 ・自分の考えを発表する機会を授業中により多く設定する。 ・ポジティブな行動支援(PBS)に基づく授業づくりと生徒指導をする。	○4月からの取組を踏まえて、以下のような指導の改善に取り組む。 ・ペアやグループで考えたことを発表する機会を設ける。 ・友達やゲストティーチャーからの賞賛の機会を増やせる場を充実させる。	・どの教科でも、することが分かれば、主体的に学習に取り組むことができた。 ・ペアやグループ活動では、自分の考えを発表し、お互いの考えを知ることができた。学級全体で各自の考えを発表することは、引き続き工夫が必要。	・児童が集中して学習できるように「よく学ぶための7つの約束」を徹底することを継続して取り組む。 ・ペアやグループでの話し合い活動を推進し、自分の考えを発表し、交流する機会を増やす。